

おあしす



特定医療法人 南山会
親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2026

1

第40巻 1号
(通巻461号)



峡西病院の理念

「その人らしさとともに創造する」

人生の新しい目的や意味と一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

地域とつながる一日 『つながる未来フェス2025』開催レポート

11月8日(土)、岐阜病院にて「つながる未来フェス2025」を開催しました。秋晴れの穏やかな天候にも恵まれ、地域の皆さまをはじめ、お子さまから「高齢の方まで多くの方にご来場いただき、会場は一日中にぎわいに包まれました。

当日は、外部団体の皆さまにも多数ご協力いただき、会場内にはさまざまな体験型ブースが並びました。バルーンアートショーや、手作りゲーム、キラキラボトルづくりなど、特に小さなお子さま向けの企画は大変好評で、笑顔と歓声があふれるひとときとなりました。

また、「ふまねっと運動」や椅子ヨガ体験、福祉用具の体験コーナーなど、健康づくりや生活に役立つプログラムも実施し、参加された方々は熱心に説明に耳を傾けながら、楽しみつつ学んでいる様子が印象的でした。院長による講演や、認知症を理解するVR体験も、多くの方に関心をお寄せいただきました。

ご来場いただいた皆さま、ななびにご協力いただいた関係団体の皆さんに心より御礼申し上げます。



ジット会さんからは、カレーのブースがお店。本格的で、すごく美味しかったです！



風船屋Keyさんによるバルーンアートショー。リクエストのあったバルーンのプレゼントもあり、大好評！

11月7日(金)、11月8日(土)10時～15時にアシストエンジニアリングよつちやばれ広場で開催された「山梨県障害者芸術文化祭」に岐阜病院リハビリテーションセンター・フレンズの合唱チーム「フレンズアート」が合唱委員会＆有志の皆さん」が出演しました。

5ヶ月間練習を重ね「世界に一つだけの花」フレンズメンバー広瀬勉さん作詞作曲のオリジナル曲「素敵な居場所」の2曲を披露しました。メンバーがデザインしたオリジナル・シャツを作成し全員で揃え、思いのこもったデザイン、鮮やかな色合いのTシャツが会場でひときわ映えフレンズらしい一体感のあるステージとなりました。また、メンバーや自身の役割と強みを活かし一丸となることで目標を達成できたと思います。

当日は緊張しながらも普段の練習を思い出し一人一人が心をこめて歌声を届けました。会場からは大きな拍手をいただきメンバーの表情にも達成感があふれています。今回の参加は、音楽を通じた交流、自己表現の場として貴重な経験となりました。



リハビリテーションセンター
フレンズ 森澤

人前で表現する経験を通して仲間と共に挑戦し達成感を得られたことは今後予定している第4回フレンズアート作品展への大切なステップになると思います。

第12回山梨県障害者芸術文化祭

担当患者様が亡くなられ、ご家族とお話をする機会があり、ドライブや散歩で楽しまれていた事、甘いおやつを嬉しそうに召し上がるがつていたお話をさせていたいた際に、「病院でも楽しいことをしてくれていたのですね！」何も知らなかつたです。

大切な家族が入院となり、入院しているから事が不安になるご家族様がいるかもしれません。『もしも自分が家族だつたら』と考えた時に、病棟での様子を知りたいと思いました。

病棟での活動の様子を知つていただきたい

病棟出入口に写真などを貼り待ち時間に見て頂けるようにしたいと考えました。

ご意見箱の改善アンケートの作成

ご意見箱の設置場所、見た目、用紙の書きやすさを検討しました。なぜ投書が無いのか考えました。もしこれが家族の立場だつたら

最後に

今回の取り組みを通して、相手の立場に立ち視点を変えることで、見えてくるものがあることに改めて気付くことが出来ました。患者様、ご家族に安心していただけるよう、気付く力、利他の心を念頭に置き、仕事に取り組んでいきたいと思います。

「相手の立場に立ち見えること」活動内容等をオープンにすること、病棟のことを知つていただき、QOL向上の為、ご意見箱、ご家族へのアンケートを活用する

の際に接遇委員になり、委員会での報告

掲示したこと、外出する機会があることを知り、ご家族様に安心していただけました。また、「リハビリの必要があるのか」というご家族様からの質問にお答えする際に役に立つたという声も聞かれました。

気兼ねなく投書していただけるよう、ご案内の用紙を作成し掲示しました。投書用紙はサイズを大きくし、罫線や項目を無くし、ご高齢の方でも書きやすいように工夫しました。投書については患者様、ご家族様あわせて3件のみですが頂くことができました。もつとご意見をいただけるようコミュニケーション不足の改善や工夫などに取り組みたいと考えています。



◇創造賞◇

リスタート病棟
渡邊 亜衣



母も喜んでいたと思います。ありがとうございました」とお話して下さい、嬉しい反面、何も伝えることが出来ていなかつたことに、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

面会室の方がゆつくり見て頂けるのではないか、という事で面会室に掲示しました。左の写真は公開したものの一部となります。



以上を踏まえ、木製のご意見箱から左の写真の物に変更しました。ためらつてしまふかも知れないと思いました。



OT・PT だより



12月10日クリスマスコンサートが開催されました。第1部ではサンタクロースさんが登場しました。「みんなでハッピーなりましょ」と「ハッピー」とみんなで声を合わせて言つたり、「幸せなら手をたたこう」を歌いました。サンタさんが会場の皆さんに幸せを運んでくださいました。第2部ではソプラノ歌手の根岸さんが、フルート奏者の沖田さん、ピアノの依田さんとともに2年ぶりに峠西病院へ来てくださいました。ミュージカル曲「踊り明かそう」やチエコ語での「月に寄せる歌」、そして日本の「冬景色」など美しい歌声とピアノやフルートの音色にうつとりとしました。また、今年は新たな取り組みということで「スノーマン」という物語をお話、歌とピアノ、フルト演奏織り交ぜてきかせていただきました。新たな表現にわくわくドキドキさせていただきました。最後は会場の皆さんとともに「聖夜」ジングルベル」と歌唱しました。楽しいひと時をありがとうございました。

12月10日クリスマスコンサートが開催されました。第1部ではサンタクロースさんが登場しました。「みんなでハッピーなりましょ」と「ハッピー」とみんなで声を合わせて言つたり、「幸せなら手をたたこう」を歌いました。サンタさんが会場の皆さんに幸せを運んでくださいました。第2部ではソプラノ歌手の根岸さんが、フルート奏者の沖田さん、ピアノの依田さんとともに2年ぶりに峠西病院へ来てくださいました。ミュージカル曲「踊り明かそう」やチエコ語での「月に寄せる歌」、そして日本の「冬景色」など美しい歌声とピアノやフルートの音色にうつとりとしました。また、今年は新たな取り組みということで「スノーマン」という物語をお話、歌とピアノ、フルト演奏織り交ぜてきかせていただきました。新たな表現にわくわくドキドキさせていただきました。最後は会



クリスマスコンサート



リハビリテーションセンターだより

障害者文化展総合展で入選・奨励賞を受賞!

去る11月21~26日に県立図書館にて障害者文化展総合展が開催され、当院の利用者さん2名が見事に入選、奨励賞を受賞されました。

今年の総合展も、皆様の個性溢れる、心温まる素晴らしい作品が一堂に会する場となりました。当院からも6作品が選抜され、多くの来場者に感動を与えていました。日ごろからリハビリや創作活動に真摯に取り組まれているお二人の努力が、このように素晴らしい形で実を結んだことをスタッフ一同大変うれしく思っております。

当院では、これからも創作活動を通じて、利用者さん一人一人の自己表現の場と可能性を広げるお手伝いを続けてまいります。



興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

プログラム紹介

(活動内容)

手芸サークルの時間や、プログラムの合間・昼休みなどの個人活動の時間で、刺繍や編み物などこまやかな作業に取り組んでいます。とても素敵な力で、イギンを完成させたゆかりさんにお話を聞きました。ゆかりさん、「初めて」と「この」を観て作りました。2か月ほどで完成しました。毛糸の色味に合うようなボタン選びに迷いましたが、最後は納得のいくボタンを付けることができました。今日のファッションはスカートも、鞄も手作りです！」



手芸サークル(第一・第二金曜午後)

個人活動(随时)

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

峠西病院 リハビリのご案内

検索

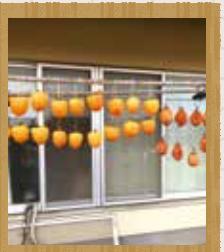
ろうけんTimes

今月の
TOPICS★

干し柿作りを行いました♪ 皆様手際よくピーラーで皮をむき、あつという間に吊るし終える姿はまるで昔を思い出したかのよう(*^-^*) 「懐かしいね」「昔はよくやったよ」と笑顔で話しながら、柿の話から若い頃の思い出まで、たくさんのエピソードを聞かせていただきました☆ ゆっくりと甘さが増していく干し柿とともに、またひとつ季節の楽しみが増えました(^o^)ノ



3F
通所
リハビリ



2F
認知症
専門棟



「園芸の会」では、小松菜の種まきを行いました(^^♪ 植える際に種の間隔をあけ、手際よく丁寧に種をまいていました★ 「いっぱい育って欲しいね」「育ったらどうやって食べようか」と笑顔で会話が弾み、昔育てた野菜の思い出話にも花が咲きました! (^o^) これから成長が楽しみです(^○^)

「ご当地の会」では、さつまいもを丸めた“お餅じゃないお団子”的おしるこを楽しみました(*^_^*) 見慣れない甘味に「食べたことないけど美味しい」「こんな大きい団子食べられるかな」と笑顔がこぼれ、食べる前から和やかな雰囲気に♪ ひと口味わうと、ほんのり優しい甘さが心も体も温めってくれました★ 季節を感じるひとときを皆様と共有できた会となりました(≧△≦)

1F
一般棟



* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峠西老健
の 理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、T・Tさんにおすすめの本を
聞きました！

本の題名：ぼっこちゃん

(作者:星 新一／出版社:新潮文庫／出版年月日:1971年)

●読んだきっかけは？

うだるようすに暑い日でした。私はお気に入りのポットに並々とフルーツを入れて、炭酸水と氷を入れて作る「自家製ティー」をたしなんでいました。そんなとき、ふと私の携帯で目に止まったのが「ぼっこちゃん」でした。これも何かの縁かなと思い、迷いなく購入したのでした。

●おすすめのポイントは？

この本は短く説明すると、「ショートショート」です。ショートショートって何？と思われる方も多いと思います。それは短くてとんでもなく面白い話ってことなんです。キラリと光ったかと思えば、一転どす黒くもなる。なんだこれ！って思わず言っちゃうし、つい関心もしちゃうみたいな感じです。短い話がいくつも載っているので、かいつまんで読めちゃうので、本が苦手って人にもお勧めだし、程よい刺激や面白さを得たい人にもおすすめなんです。出版が1971年と古いのに、全然古さを感じない。やっぱりすごい作者って時代関係なく愛される作品を生み出させて改めてすごいなーって感動しました。ぜひお時間を作って読んでみて下さい。

「患者と医療者のパートナーシップ」指針

■基本方針

当院は最適な医療を提供すると同時に、患者様やご家族の医療や療養に対する希望・自己決定権を尊重して、患者・医療者のパートナーシップを大切にします。

■具体的対応と要望を反映するしくみ

- ・入院時診療計画を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(医局・看護部)
- ・月ごとの総合診療計画実施書を説明し、同意を得た上で文書を提供する。(作業療法室)
- ・カンファレンスへの家族参加の呼びかけ。
- ・在宅に向けた医療スタッフの訪問と療養環境整備目的の相談を受ける。(訪問看護室)
- ・ソーシャル・スキル向上目的の訓練計画の立案へ、患者・家族の参加の呼びかけ。(臨床心理室・デイケア室)
- ・アンケート調査を通じて、要望事項の確認と対応の公開をする。(事務部)
- ・「ご意見箱」により病院管理者へ意見が届き、対応内容を院内に公開する。(接遇委員会)
- ・「家族教室」を定期的に開催し、必要な情報の提供と相談に応じる。(医療相談室)

■患者・医療者のパートナーシップを継続的検討

- ・指摘された問題や要望については、定期的な検討を行なっています。

最近、車で国道を走るたびに気になることがあります。道路沿いの雑草が毎年どんどん勢いを増して、生い茂っていることです。夏には背丈ほど伸びるところもあり、「ここはいつか誰かが刈るんだろうか…」と気になりつつ通り過ぎています。

自治体の議員が活動報告で「除草作業を進めています」と発信したり、委託された業者さんが時々作

万華鏡

業している姿も見かけます。それでも、あれだけの範囲を毎年きれいに保つのは本当に大変なんだろうと思います。人手も予算も無限ではないし、追いつかないのも無理はありません。

「じゃあ自分で草刈りに行けばいいのでは」と一瞬思うのですが、国道沿いで鎌を持つてうろうろしているたら危ないでしょうし、そもそも一人で安全にできる作業ではありません。自治体の役員で地域の草刈りをしたことはありますか? しかしも今のご時世、道路で作業をするには安全確保や責任の問題も

推しの花火会社は、市川三郷町にある「株式会社マルゴー」です。発色の良さと「時差式花火」のクオリティは、全国の花火会社の中でもトップクラスで、花火の競技大会でも賞をとる実力のある会社です。

「時差式花火」というのは、まるでイルミネーションのように次から次へと色が変わっていく花火です。初めて見たときは、花火の概念が変わってしまうほどの衝撃を受けたことを覚えています。発色の濃さ・明るさも素晴らしいです。

私の趣味は、打ち上げ花火鑑賞です。大学生のときに神明の花火のグランドフィナーレの動画を見たことがきっかけで花火に魅了され、毎年ふるさと納税席で神明の花火を見るのを楽しみにしています。

業している姿も見かけます。それでも、あれだけの範囲を毎年きれいに保つのは本当に大変なんだろうと思います。人手も予算も無限ではないし、追いつかないのも無理はありません。

「じゃあ自分で草刈りに行けばいいのでは」と一瞬思うのですが、国道沿いで鎌を持つてうろうろしているたら危ないでしょうし、そもそも一人で安全にできる作業ではありません。自治体の役員で地域の草刈りをしたことはありますか? しかしも今のご時世、道路で作業をするには安全確保や責任の問題も

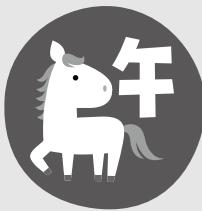
すぐ、キラキラを通り越してギラギラするほど派手です。視界いっぱいの花火が目まぐるしく変化していくため、自分がいくつあつても足りません。県外でも「長岡まつり大花火大会」や、「大曲の花火」など多くの花火大会でマルゴーさんの打ち上げプログラムがあるので、いつかは行ってみたいと思ってます。

全国には多くの花火会社があり、それぞれが売りにしている色や得意な玉があります。打ちあがった花火を見て、どの会社の作品かを予想するのも、打ち上げ花火の楽しみ方の一つです。もし花火に興味を持つてくださった方がいましたら、ぜひ、推しの花火会社を見つけてみてください。

そして迎えた2026年は午年。古くから馬は「前進」「勝負」「躍躍」を象徴するといわれ、停滞を打破し、新たなステージへ進む年とも言われています。昨年に積み上げた経験を力に変えて、今年はさらに軽やかに、のんびやかに歩み進めていけたらと思います。

そんなことを考えていると、「雑草ぐらい…」と思っていたのが、実はなかなか複雑な問題だつたりします。とはいえて難しく考えすぎず、地域の景観をみんなで少しずつ気にかけられるといいのかもしれません。国道沿いの草、皆さんはどう思つます。

こちから編集室



私の趣味

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、たくさんのお励ましやご協力に支えられ、無事に一年を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

昨年は小さな変化から大きな出来事まで振り返れば実にさまざまなもので、思い通りにいかないこともあります。新しいアイデアや温かい出会いに助けられたことも多く、改めて”人のつながりの力”を感じさせられました。

